

馬場ひでゆきの活動日誌

No.84

今日は、まず、11月17日の県議会の県民所得アップ対策特別委員会で話題になった農産物の直売所のことを報告します。

農産物直売所が200億円越え！

近年農業分野では、所得アップを図るために、生産だけではなく農産物の加工や流通までを手がける経営の多角化が実践されてきました。ちなみに農業の1次産業だけでなく2次の製造、3次の流通まで取り込んでいることから、1と2と3を足して「6次産業」と言っています。

6次産業化の例は、農産物加工、農家民宿・レストラン、農産物直売などですが、伸びが目立つのが農産物直売です。

新潟県の調査によれば、県内の直売所での年間販売額、調査を開始した平成20年度以降増加傾向で令和6年は215億円（令和4年は184億円）に達

しました。延べ出荷者数も増加しています。

増加傾向の要因は？

消費者が直売所を利用する理由は、地元産の農産物は鮮度が良い、価格が安い、地元産なので生産者の顔が見えて安心感があることなどと思われます。

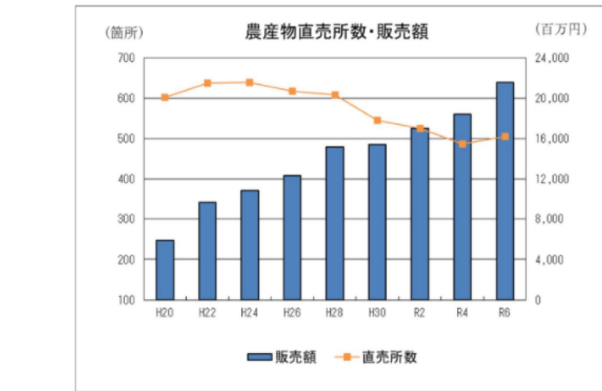
他方、生産者は、直売をするにあたって初期投資が必要ない（店舗を作らなくていい）、必要なのは場所代や売上の手数料の支払だけで、商品を持って行っ

て簡単に販売できます。そして、何よりも、価格を自分で決定できる楽しさと強さがあります。

最近では、消費者はSNSですぐに情報を入手できますから、消費者のニーズに合うものを出店すれば、人が直売所に集まってくれます。

農協や道の駅などの直売所や朝市などはよく知られていますし、最近では郵便局などでも直売コーナーが設置されるようになり

ました。今後は、出店するメリットを生産者にPRしていけば、直売所の販売額も伸長するのではな



延べ出荷者数 (人)								
H20	H22	H24	H26	H28	H30	R2	R4	R6
11,898	14,370	16,027	17,426	20,432	20,349	21,005	20,401	25,299

いかと考えます。

朝市の賑わいを取り戻す

高田・直江津の朝市も、農産物を中心とした直売所です。県の調査結果からすれば、今後の伸びや賑わいが期待されてもいいはず

です。朝市で、手作りの総菜を販売している女性からお話を聞くことができました。女性は、数年前までは店を構えて食堂を営んでいましたが、一日2万円売りに総菜を出すようになりました。総菜は自分一人で作れるため、店舗もバイトも不要で経費が削減でき、しかも、朝市では従前同様の売上を維持できているとのことでした。

確かに商品を販売すれば、客は集まってくると思います。朝市の通りの周辺には空き家や空き地も目立ちます。空き家は朝市の出店者用スペースにすれば、雨の日でも店を出せます。空き地は駐車場にすればよいのでは。伝統のある朝市にもっと人に集まってもらうために議論を重ねたいと考えています。



高田は二・七の朝市の風景。まだまだ賑わいますよ〜。

のぶちゃんとピースのこころ

10月26日に実施された上越市議会議員補欠選挙では、日本共産党の山本のぶこさんが立候補をして選挙戦を闘ってきました。残念ながら当選には至りませんでした。1万1501票を獲得しましたが、10月になって立候補表明をし、超短期決戦の状況でのこの得票は大健闘で、次に繋がる結果だと思います。なお、「柏崎刈羽原発再稼働反対」を



最後は腹話術とタコ（多幸）を回してみんなの笑顔で締めました。

が開かれました。

23名の支援者が集まり、政治の話や日頃感じていることなど語りあい、和やかな会となりました。私は途中参加となりました。私には山本さんの真つ直ぐな姿勢に刺激を受けました。私も頑張ります！

新潟県上越市歴史文化保護に対して鈍い？文化財保存・活用これから

11月15日に五智歴史の里会館で、高田文化協会事務局長の宮崎俊英さんによる「ピンチをチャンスに！能登半島地震の被災から学んだ文化財保存・活用のこれから」と題した講演が行われました。宮崎さんは中越沖地震と能登半島地震（ご親戚が能登半島にあり被災）の経験から被災した地域の宝である文化財をどう救出、保管、修復に繋げていけるかということについてお



能登半島地震で被災したキリコの保管施設の説明。
「祭り」という固有文化をどう救出し、保管、修復につなげたいか

コーシ Break

11月1日「あの頃の青春コンサート」 くびき野フォーク村

私は、1960～70年代のフォークソング隆盛の頃よりは少し遅れた世代ですが、大学時代は、60年代フォークソング特集のカセットテープを作って、ウオークマンで聞いてました。

このコンサートは、年1回の開催で、19回目。地元の歌い手の皆さんの手作りの会です。皆さん、仕事や生活しながら歌い続けているんですね。フォークの魂そのものです。最後は、会場のみんで「岬めぐり」を全員合唱。私もしっかり歌いました。次のフレーズが好きですね。

「くだけの波の あの激しさで♪

あなたをもっと 愛したかった♪」

ホール全体が「歌声喫茶」みたいでした。また、来年も聴きに行きます！



話されました。

また「重要伝統的建造物群保存地区」という文化庁の事業があるけれど、新潟県は近隣の県に比べて数が少ないこと（富山県5か所・石川県8か所・新潟県2か所）を指摘されました。上越の雁木の街並みなども、この事業を活用して保存できるのではないかと思います。

そもそも市町村が保存地区を決定しない限り、国への申請（選定の答申）は始まりません。私たちが自分の地元の文化に関心をもち、次の世代に継承する意気込みが必要だと思います。

11月8日～11月21日

- 11月9日 原発防災訓練（くびき希望館）
- 9日 のぶちゃんとピースの集い（当事務所）
- 15日 松代病院を守る大集会（十日町市松代の松代総合センター）
- 15日 宮崎俊英氏「文化財保存・活用のこれから」講演会（五智歴史の里会館）
- 18日 県議会・県民所得アップ対策特別委員会
- 20日 第2回上越地域振興局行政懇談会（上越地域振興局）

11月29日は 第5回上越★農業映画祭

第5回 上越★農業映画祭
～農がたづなぐ希望～

11/29 (土)

10:00～11:00 入場券の購入と受付
11:10～12:30 映画上映
12:30～13:30 ミュージックコンサート
13:30～15:00 映画上映
15:00～17:30 ミュージックコンサート

会場：上越市立中央公民館（上越市中央1-1-1）

入場券：大人1,000円、小人500円、小学生以下300円（小学生以下は保護者同伴）

お問い合わせ：025-546-1711

発行責任者：馬場ひでゆき事務所

住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号

ダイヤパレス高田武番館2階

電話 025-546-1711

ファックス 025-546-1766

メール keng-bahideyuki@wind.ocn.ne.jp